

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	きささげ夢プロジェクト
事業主体 (連絡先)	筑北村 企画財政課 電話：0263-66-2211
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,647,343円 (うち支援金：1,235,000円)

事業内容

- 被災地訪問
 - 聖南中学校生徒が、校内・保護者・地域への情報発信と協同でお土産作り
 - 南三陸町へ聖南中学校生徒、教職員、保護者、きささげ応援団等が参加 ⇒ 帰村後 報告会を実施
- 地域間交流・国際交流
 - 第1回きささげふるさとコンサート
 - 信州大学留学生との交流
- 筑北村の人・もの・こととの交流「我らふるさとおこし隊」
 - 善光寺街道を歩く
 - 地域ふれあい運動
 - 通学路のグリーンベルト化
 - 地域探究学習



【被災地訪問お土産づくり】

【目標・ねらい】

- ①地域住民の学校教育参加の広がり
- ②地域内外の交流の増

事業効果

- 被災地訪問団の増加 H27 65人 ⇒ 74人
- 被災地訪問報告会参加者の増加
H27 130人 ⇒ 180人
準備にかかわった地域の方も増加し、被災地への関心、生徒の願い実現への協力の意識が強くなった。
- 地域間交流・国際交流への地域住民の参加者
コンサートには280人以上が参加
- 地域探究学習には地域住民が100名以上参加。地域ふれあい運動で交流した方は多数。
- きささげ応援団に係った方の増加
H27当初34人 ⇒35人

※自己評価【B】

【理由】

- 被災地訪問は、訪問参加者の増加だけでなく、準備や発表会への参加者も大きく増加し地域住民の被災地に関わろうとする意識とそれに取り組む学校へ協力しようという意識の高揚になった。
- 二つの交流事業はきささげ応援団の支援もあり、生徒と地域住民、住民と住民との交流増となった。

今後の取り組み

- 聖南中生徒による南三陸町との交流は、生徒の自主性を大切にし、それを支える形で保護者、きささげ応援団を中心とした地域住民の協力と参加は昨年度に増して広がりを見せた。引き続き、準備・訪問・報告発表を実施し、筑北村の地域住民の学校教育への参加と地域のつながりの大切さや防災意識を高める契機としていきたい。
- 様々な交流で培った交流のよさを大切にし、さらに交流活動を学校内外に広げると共に事業を続けていくことのよさを大切にしていこう。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある